報道関係者各位

2016 年 5 月 16 日
チエル株式会社

チエルが近畿大学における次世代の教室環境、『ハイブリッド型アクティブラーニング教室』の導入を支援

～学生の学びの形に合わせて、最適な学習環境を提供できる次世代の教室へ～

チエル株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：川居 睦、以下「チエル」）は、学校法人近畿大学（大阪府東大阪市）が構築した、『ハイブリッド型アクティブラーニング教室』に、教員の授業運営をサポートする授業支援システム『CaLabo LX （キャラボエルエックス）』を導入しました。授業の形態や指導法に合わせて、最適な学習環境を提供できる『ハイブリッド型アクティブラーニング教室』において、円滑な授業運営を支援します。

■本件のポイント

- **近畿大学が一般教室、PC 教室、アクティブラーニング教室を統合した次世代の教室を構築**
- **PC を使った語学の授業、情報リテラシーの演習、アクティブラーニングで利用**
- **授業形態や学生の人数に合わせて、座席の移動、教室を分割・統合した利用を想定**
- **ノート PC、無線 LAN、無線ディスプレイの導入により、完全ケーブルレスの ICT 環境を実現**
- **無線 LAN と分離統合教室に対応できる授業支援システムとして『CaLabo LX』を導入**

■本件の背景

2012 年に文部科学省が発表した『大学改革実行プラン』に沿って、近畿大学では「主体的な学修(アクティブラーニング)ができる環境」の整備を進めています。一方で、通常講義や PC を使った演習授業では、授業時間内全てをアクティブラーニングにする必要はなく、各教員の指導法に合わせて運用ができる、次世代の教室環境が望まれていました。 近畿大学は、このような学内の要望を実現するため、通常の一斉講義、情報処理演習、アクティブラーニング等の様々な授業の形態や指導法に合わせて、柔軟に教室環境を変化できる『ハイブリッド型アクティブラーニング教室』を構築されました。チエルは、本教室に授業支援システム『CaLabo LX （キャラボエルエックス）』を導入し、授業形態に合わせた柔軟な授業運営を支援いたします。

■本件の概要

次世代の『ハイブリッド型アクティブラーニング教室』は、様々な授業の形態・指導法を想定し、以下のような設備と、授業支援システム『Calabo LX』が導入されました。

- ノート PC を収納できる可動式机により、授業の形態に合わせた教室環境を提供。
- 壁面ホワイトボード、可動式ホワイトボードの設置により、グループワーク等のアクティブラーニングを実施可能。
- クラスの人数に合わせ、2教室を1教室に統合して利用できる分離統合教室（36 席＋36 席、最大 72 席での講義に対応）を構築。
- ノート PC、無線 LAN、無線ディスプレイによる完全ケーブルレスの ICT 環境と分離統合教室に対応できる授業支援システムとして『CaLabo LX』を導入。学生画面のモニタリングと制御、教員の画面や動画、Web ページなどの教材を学生に一斉配信することで、円滑な授業運営を支援。

【ハイブリッド型アクティブラーニング教室のイメージ(近畿大学 C 館 311-314 教室)】



2 教室を 1 教室としても運用可能な分離統合教室



無線 LAN による各ＰＣへの一斉画面配信

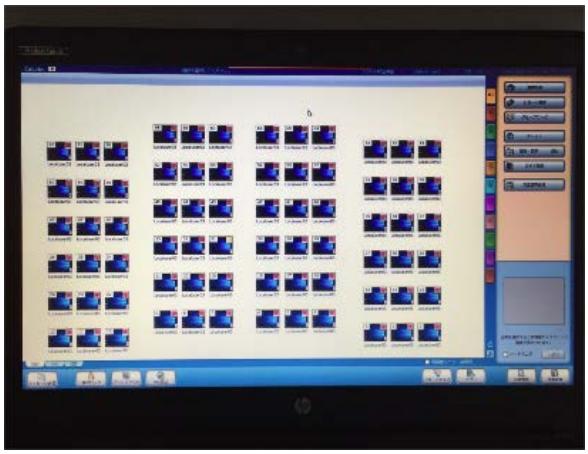


座席を分けてペア・グループワーク

【導入製品について】

ハイブリッド型アクティブラーニング教室に採用された『CaLabo LX』

完全ケーブルレスの ICT 環境に対応し、また可動式のコンピューターによる座席レイアウト変更、分離統合教室に対応した授業支援システムとして、チエルの『CaLabo LX（キャラボエルエックス）』が採用されました。教員 PC から学生 PC の状況を把握・操作支援、また教材の一斉配信をすることで授業の進行を円滑にすることができます。



2 教室統合した学生 PC 画面を全てモニタリング

【 本リリースに関するお問合せ先 】
チエル 株式会社　マーケティング部 安田
TEL: 03-6712-9721
E-Mail: chieru-info@chieru.co.jp
URL: http://www.chieru.co.jp